



いたびつ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年9月28日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

「TEAM 板櫃」を誇りに前進しよう！



チーム(TEAM)・・・校長先生の好きな言葉

体育大会、文化発表会、修学旅行(2年)、受験と学級、学年すばらしいチームワークを発揮して下さい。次に、体育大会の練習に向けて少し難しい内容を載せましたがぜひ読んでください。

体育大会に向けて大切にしたいことは

体育大会や文化発表会、修学旅行など、クラスで一つのことに取り組むとき、どうすればうまくいくと思いますか？それは、同じ目標に向かって頑張る友だちとよい関係を築ける「言葉かけ」「声かけ」が大切だと思います。



■ 目指すゴールを明確に

保体委員や生徒委員を中心に、勝つことだけでなく、「何をを目指すのか」というゴールをみんなと共有しましょう。リーダーは、クラスみんなを見守りつつ「こっちに進むんだよ」と教えるようにサポートしながら導く役割が求められます。自分の意見ばかりを主張して目立とうとすると反感を買いやすくなります。「僕たちは」「私たちは」を主語にして「私たちはこういうふうにやっていこうよ」という話し方をするとみんなの共感を得ることができると思います。

■ 違う意見も受け止める

無理に相手に同意する必要はありません。考え方が違う人に対しては「〇〇さんはそう思うんだね」「そういう考え方もあるよね」と共感的理解を示してから、お互いにどこまで譲り合えるかを話し合しましょう。「あなたがこんな行動を取ったせいで」と過去のことを追及し続けるのではなく、「今後はこうしようね」と未来の行動について話すと、聞き入れてもらいやすくなります。

■ 居場所づくりが大切

クラスに運動が苦手な人がいる場合などは、その人のことを認める言葉かけをしていくと、クラス全体の雰囲気良くなります。人間は「ここには自分の居場所がある」と実感できると、「頑張ろう」とやる気が湧いてくるものです。成果が出ない場合でも、「〇〇さんは練習に一生懸命だよね」「ムードメーカー的な存在だから、クラスの雰囲気が明るくなるね」など、その人が自分もクラスの大事な一員なのだと思えるような言葉かけをしていきましょう。

